

7 本時の学習

(1) 本時の目標

10のまとまりを意識した2位数の数え方, 唱え方や, 位取りの原理と記数法を理解する。

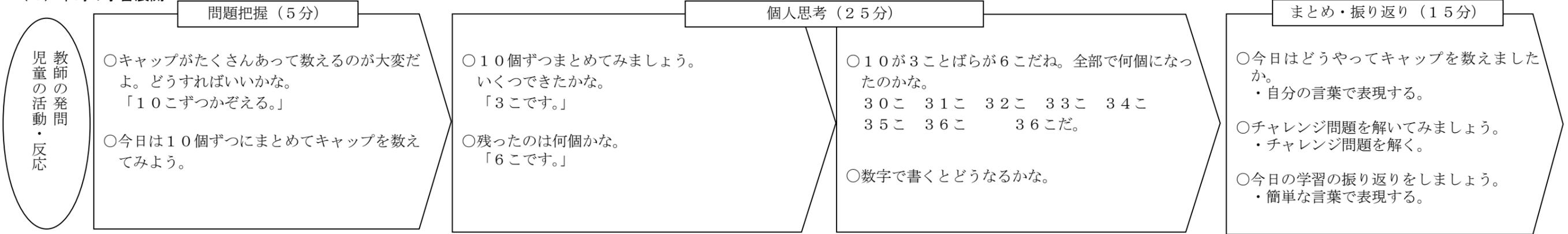
(2) 本時の評価規準

ア 位取り記数法は書く位置の違いを利用して表していることを理解し, 2位数を書くことができる。

(3) 本時で育成したい資質・能力

A 活動内容を理解し, 10のまとまりを作りながら数を数えることができる。

(4) 本時の学習展開



児童の活動・反応

11/11	<p>おおきいかずをかぞえよう</p> <p>めあて なんこあるか, 2人でかぞえられるかな。(4年生と大小わかる)</p> <p>よそう 「10こずつかぞえよう。」 「10こでまるをかこう。」</p> <p>挿絵</p> <p>○10が3こできた。 ○6このこった。 ○30, 31・・・36こだ。</p>	<p>さんじゅうろくって, どうやってかくのかな。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 50%;">十のくらい</th> <th style="width: 50%;">一のくらい</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6</td> </tr> </table> <p>36ってかくんだね</p>	十のくらい	一のくらい			3	6	<p>まとめ かずをかぞえるときは10こずつまとめてかぞえる。</p> <p>チャレンジ チャレンジ問題</p> <p>振り返り たくさんあったけど, 数えました。 10こずつかぞえました。</p>
十のくらい	一のくらい								
3	6								

○指導・支援

○単元全体を貫く課題をおさえ, 本時の学習のねらいを明確にする。
○学習意欲を持たせるために, 図や学習シート等で, わかりやすく, 操作しやすくする。

○10のまとまりを作り, 丸で囲むことでまとまりをしっかりと意識させる。
⑦10ずつのまとまりを作って数を数えている。(発言, 行動観察)
⑧10のまとまりを作って数を数えることを意識しながら, 進んで課題解決している。

○1の位に一旦1を10個置いてから, 10に変身させるなど, 10進位取り法の理解を視覚的にとらえさせる。
○位取り表を見て, 具体物を操作しながら, 36の表記について考えさせる。
○位取り表を完成させることを通して, 36の数学的表記に気づくことができる。
⑦位取り記数法を理解し, 36と書き表している。(行動観察)

○本時のめあてに対するまとめを簡潔な言葉で表す。
○チャレンジ問題を解かせ, 本時の学習が理解できているか自分で確認できるようにする。
○振り返りを簡単な言葉で表現させ, 本時の学習がよくわかったか・楽しく学習ができたかを自分で振り返られるようにする。

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿